

# 砂川市の国保の現状

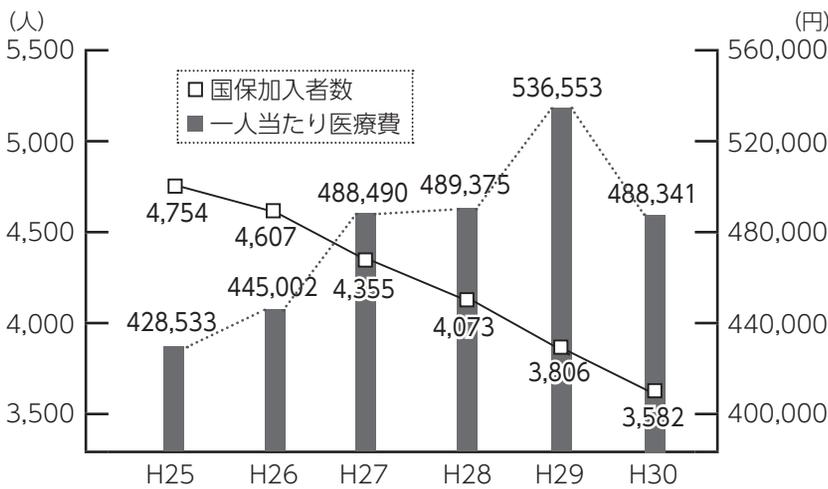
国民健康保険（国保）は、自営業の方や会社などの健康保険に加入していない方が入る保険です。今回は、砂川市の国保の現状についてお知らせします。

国保係員 54・2121

## 医療費の現状

砂川市の国保加入者の医療費は、高額な医療費の入院件数などの減少により、前年度と比較すると減少し、一人

【図1】砂川市の国保加入者数と一人当たり医療費



当たり医療費も約9・0%減少しました。しかし、一人当たり医療費は、約49万円と全道平均と比較しても依然として高水準となっています。【図1】また、急性期医療にかかる入院費用の増や医療の高度化などにより、一件当たりの医療費が高額になること、高額な薬剤の出現などが要因となり、医療費の高い状況は続く見込まれています。

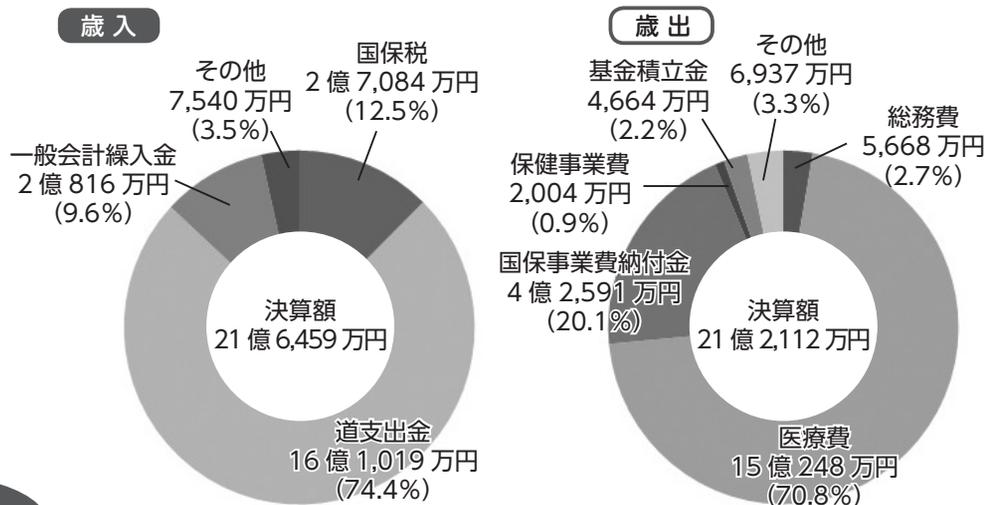
## 国保の運営状況

平成30年度の決算状況は、全体の医療費が前年度より減少し、約4664万円を基金への積み立てを行ったうえで、約4347万円の黒字収支となりました。【図2】

歳出では、全体に占める医療費の割合は70・8%であり、金額にして約15億円と大きな割合となっています。歳入では、国保税の割合が12・5%、約2億7千万円となっており、財源の多くは道からの補助金などで賄われています。

【図2】平成30年度砂川市国民健康保険決算状況

国保の財政運営が平成30年度より北海道へ移管しましたが、全道の医療費の状況が、次年度に北海道へ納める納付金の額に影響することから、特定健診を受診して病気を早期発見・予防するなど、医療費の削減にご協力をお願いします。



医療費を安く抑えるために！



## ジェネリック医薬品を活用しましょう！

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売され、先発医薬品と同じ有効成分・効能・効果をもつ医薬品です。すでに開発された薬の有効成分を使用するため、安価で医療費の自己負担が軽減されます。

ただし、ジェネリック医薬品がない薬や、合わせて服用できる薬が変わることもありますので、医師や薬剤師に相談して上手に活用しましょう。